

～学びと育ちの連続性～

# 浦幌小中一貫便り

平成 25 年 8 月 28 日 (No.6)

浦幌町教育委員会



## 小中一貫先進地視察(第3弾)

(日 時) 平成 25 年 7 月 30 日(火)

(視察者) 山本桃子 研究所員

(視察先) 「全国コミュニティ・スクール  
研究大会 in 京都」  
国立京都国際会館

# 京都市の小中一貫による学校運営協議会

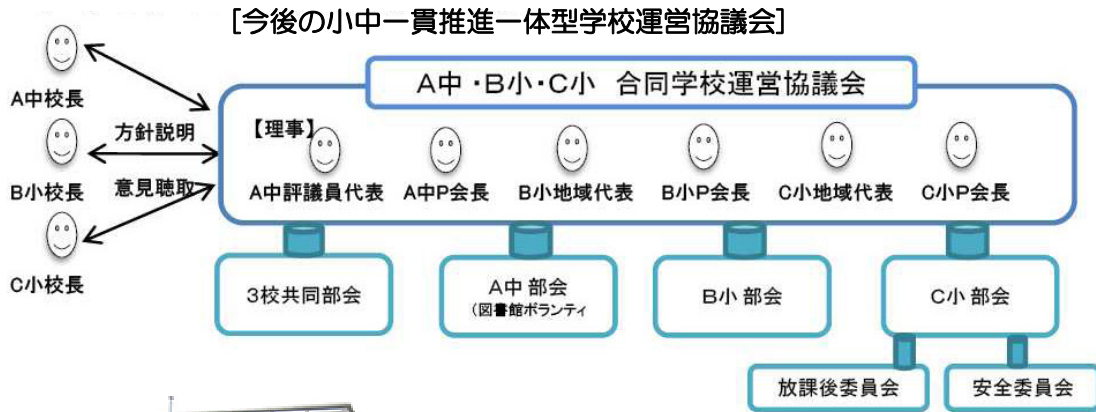
■6月25～27日、山本輝男次長、森雅仁校長、山本瑞聡教頭の3名が、京都市立御所南小学校、京都御池中学校、京都市教育委員会

を視察するとともに、京都産業大学の西川教授を訪ねてご教示いただきました。

■京都市は、学制発布前から町衆が「番組」とよばれる自治組織ごとに学校づくりが行われてきた経過があり、運営協議会についても御所南小、高倉小、京都御池中の各学校に設置されました。今後の小中一貫教育の方向性としては、中学校を中心とした一体型学校運営協議会の設置が望ましいとしています。(下図参照)

■京都市の学校運営協議会の特徴は、次の4点です。

- ①企画推進委員会(学校の応援団)の設置
- ②学校関係者評価(学校のご意見番)の実施
- ③教員公募制の活用
- ④校長の責任と権限の明確化



●平成 15 年度京都市教育委員会指定校。

●御所南小、高倉小の6年生が、京都御池中学校で授業を行っている。



京都御池中学校

●平成 14 年度文部科学省「新しいタイプの学校運営の在り方」指定校。  
●小中一貫教育で「読解科」を行っている。



御所南小学校